

2013 年度

公益財団法人東京子ども図書館

# 年次報告

〒 165-0023 東京都中野区江原町 1-19-10

2014 年 7 月発行

Tel. 03-3565-7711 Fax. 03-3565-7712 URL <http://www.tcl.or.jp>

## さらなる成長へ

理事長 松岡享子



かつら文庫外観 撮影：志田三穂子

東京子ども図書館は、2014 年 1 月に設立 40 周年を迎えました。その時点から 1 年余りをかけて記念事業を行うことを決め、そのための計画立案・準備に力をそそいだのが 2013 年度でした。今、その一部が動きはじめたところなので、わたしたちの関心は、3 月末でしめくくられた昨年度より、これから先へと向かっています。記念事業が行われる 2014 年だけでなく、もっとその先へと。

わたしは、つねづね東京子ども図書館のような運動体も、人間とおなじ有機体だと考えてきました。生まれるときがあり、成長するときがあり、ある成熟度に達したあとは、停滞や衰退が待っていてもおかしくない、と。有機体としては、むしろ自然なその流れを承知したうえで、それでも運動を維持する、いや、単に維持するだけでなく、木にたとえれば新しい枝を伸ばす、川にたとえれば新しい水脈から水を引いて、生き生きと成長をつづけるにはどうすればよいか、40 年の先にわたしたちがどんなイメージを描けるか、これからを担う若い職員たちへの課題です。

改修されたかつら文庫には、新しい活動の可能性が見えています。文庫をはじめとする民間の読書活動の記録を収集し、研究に供することを目指す「マップのへや」は、若い研究者を待っています。石井桃子さん、渡辺茂男さんなど、子どもの本の世界に大きな貢献をしてくださった故人の資料も、思い出のためでなく、これからの活動へのインスピレーションを得るために活用されなければなりません。ここにも同じ関心を共有する若い世代の参加が待たれます。

設立 30 年を機にはじめた「おばあさんのいす」「在日系ブラジル人の子どもたちへの読書支援」も、新しい枝として育ちつつあります。これらの活動は、わたしたちの関心の強さというよりは、むしろ少子高齢化社会の要請の強さと緊迫度によって、今後ますます重要性を増すと予想されます。

さらなる成長へ。わたしたちの歩みがつづいていくことを祈っています。



## かつら文庫リニューアル・オープン

2013年度が一番大きな事業は、かつら文庫の改修工事でした。石井桃子さんが1958年にはじめた子どものための小さな図書室・かつら文庫は、ご自宅の1階部分にあります。2011年3月からは、2階の書斎、居室スペースを「石井桃子さんのへや」として、おとなの方たちに公開する日を設けましたが、さらなる有効活用をめざして、隣接する建物を含めた改修工事を行うことになりました。

工事は5月7日から始まり、7月25日に無事引き渡しが行われました。設計は草野建築設計事務所、施工はオーエフエンジニアリング有限会社によるもので、長い時間をかけて練った私たち職員のプランを丁寧に形にしてくださいました。

工事費用については、一般財団法人日本宝くじ協会に2,800万円の助成を申請し、2,500万円をいただけることになりましたが、不足分を補てんするための募金をみなさまによびかけたところ、約半年で目標額を上回るご支援金が寄せられました。温かいお志にあらためてお礼申し上げます。



(A)



(B)



(C)



(D)

新しい施設となったかつら文庫は、従来どおり子ども文庫をつづける一方で、石井桃子さんの書斎(A)や、児童文学者・渡辺茂男さんの蔵書と日本の児童図書賞受賞作(1947～2011・旧当館資料室蔵書)を閲覧できる「公開書庫」(B)、全国の子どもの読書推進グループの活動を紹介する「マップのへや」(C)、子どもの本や読書に関する資料や絵画、作家にちなんだ品々等をご覧いただく小規模な展示室(D)を設けました。(初回展示は「渡辺茂男さんの仕事」)。

2014年3月1日～3日に行われた「かつら文庫リニューアル・オープン行事」では、これらの部屋を見ていただく内覧会と、記念講演会を開催しました。内覧会来場者は延べ268名。各部屋溢れかえるような大盛況でしたが、みなさんそれぞれ、熱心に資料を手にとってながめていらっしゃいました。

杉並区立中央図書館を会場に、杉並区教育委員会との共催で行われた記念講演会には、石井桃子さんとゆかりの深いおふたりを講師にお招きしました。

・渡辺鉄太氏「かつらの木陰から散歩に出て——渡辺茂男の仕事と蔵書と石井桃子さん」  
(3月2日、参加・63名)

・荒井督子氏「よりよき『子どもの図書館』をめざして——石井桃子さんの願い」  
(3月3日、参加・66名)

この催しに合わせて、記録映像「石井桃子さんがはじめた小さな子ども図書室 かつら文庫」を森英男氏の協力により製作、各会場で上映しました。



渡辺鉄太氏



荒井督子氏



今後は、週2回、火曜、木曜日の定期的な公開に加え、折々に、お話会や講座を開き、勉強会のための会場提供をするなど、ここが、子どもと本に心を寄せる方たちの交流と研修の場になるようにめざしていきたいと思っております。どうぞこれからも、かつら文庫の成長を見守り、お支えくださいますようお願いいたします。

かつら文庫の詳細はこちらをご覧ください。<http://www.tcl.or.jp/access3.html>

## 一年のあゆみ

### 4月

- ・第8期わらべうた連続講座（11日、他7回）
- ・昼のお話会（12日、10/11、1/24）
- ・池田正孝氏スライドとお話（12日、7/12、10/11）
- ・中野区立江原保育園招待（16日、他4回）
- ・第30期お話の講習会開講式（19日）
- ・かつら文庫 改修のため休室（20日～9/7）
- ・やはたみずのとう幼稚園（中野区）招待（26日、5/7、8/23）
- ・かつら文庫改修のための募金開始（～10月）

### 5月

- ・児童室こどもの日開館 おじいさんのいすコンサート（5日）
- ・第18期子どもの図書館講座（16日、他4回）
- ・児童室おばあさんのいす（18日、他10回）
- ・中野区立江原小学校でお話（29日、6/4、6/8）
- ・「三本の金の髪の毛」お話会（31日、6/11、7/12）

### 6月

- ・愛心幼稚園（豊島区）でお話（18日、12/17、1/14）
- ・神宮輝夫氏講演会（22日、9/28）

### 7月

- ・短期お話の講習会初級コース（11日、9/12）
- ・児童図書館員のための初級研修プログラム（13日、他7回）
- ・児童室夜のお話会（20日）
- ・陸前高田市立小友小学校訪問（22日、11/8、2/20）
- ・練馬区立開進第三中学校2年生職業体験（24、31日）

### 8月

- ・わらべうた1日講座（22、23日）

### 9月

- ・レクチャーボックス◆マーシャ・ブラウン「庭園の中の三人／左と右」刊行（14日）
- ・「3.11からの出発」チャリティお話会（20日）
- ・子どもの本蚤の市（24～28日）
- ・在日日系ブラジル人の子どもたちへの読書支援お話会（26、27日、於豊橋）

### 10月

- ・先輩に聞く 清水康之氏講演会（17日）
- ・学習院初等科でお話（25日）

### 11月

- ・バザー（23日）

### 12月

- ・かつら文庫クリスマス会（14日）
- ・児童室クリスマス会（21日）

### 1月

- ・設立40周年記念事業開始（31日）

### 2月

- ・第29期お話の講習会修了お話の会（11日、修了式3/7）

### 3月

- ・かつら文庫子どものひなまつり（1日）
- ・かつら文庫リニューアル・オープン行事（1～3日）
- ・賛助会員の集い（29日）

## I 概況

かつら文庫の改修工事（2頁参照）を行い、それに続く資料整備と公開準備に多くの時間とエネルギーを費やした1年でした。

これと並行して、財団設立40周年記念事業の企画を練り、実行準備をしました。そして、2014年1月31日、財団法人設立の認可を得てから満40年当日の夕刻に、記念事業開幕を飾るオープニング・コンサートが開かれました。松の実文庫卒業生の大嶋・ライアン・ユミコさんのピアノに加え、新進の長尾春花さん（ヴァイオリン）、山本直輝さん（チェロ）の息の合った室内楽がホールを満たし、お祝いの気分を盛り上げていただきました。（参加・56名）

同時に、記念事業の柱となる「おはなしのろうそくチャリティマラソン」もスタート。全国各地で「ろうそく」のお話が語られる様子は、1年間にわたり、ホームページ特設サイトで順次発表することになっています。応援グッズ「おはなしのろうそく」クリアファイルも発売、最新巻「おはなしのろうそく30」の編集にも着手しました。このほか、当館の活動の歴史を辿る冊子「東京子ども図書館のあゆみ」を12年ぶりに増補改訂し、配布を開始しました。

さらに、当館役職員がチームを組んで各地に出向き、児童図書館の基本を学び合う「出張講座キャラバン」の企画も進めました。この40周年記念事業は2014年度も継続します。

また、故人の旧蔵書や出版社からの寄贈図書が大量にあったため、リサイクルを目的とした「子どもの本蚤の市」を初の試みとして行いました。期間中には、当館講座修了生のご協力を得た読み聞かせやブックトークの会もあり、大勢の方が足を運んでいただきました。

そのほかの通常事業も例年通り活発に行いました。なかでも、在日日系ブラジル人の子どもたちへの読書支援が豊橋市以外へも範囲を広げていること、第18期子どもの図書館講座は当初の予定を変更して大きな会場で行ったこと、研修プログラムは受講生の年齢枠を広げたことなどが注目されます。出版では、「庭園の中の三人／左と右」新装版お話のリスト」等の新刊を刊行したほか、被災地支援のために作成した「3.11リスト」の単行本化や、児童図書館基本蔵書目録の続巻「物語の森へ」の編纂を職員と、元研修生やベテラン図書館員からなる協力ボランティアが一丸となって進めました。その成果を一日も早くお目にかけられるように新年度も力を注ぎたいと思います。



オープニング・コンサート

## ■財務諸表

### 貸借対照表 2014年3月31日現在 (単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
I. 資産の部	<b>790,241,869</b>	II. 負債の部	<b>13,711,866</b>
1. 流動資産	35,138,845	1. 流動負債	13,711,866
現金預金	14,071,920	未払い金	283,395
販売用図書	15,973,103	前受金	12,238,314
機関誌	2,131,328	預り金	1,190,157
売掛債権	2,962,494	III. 正味財産の部	<b>776,530,003</b>
2. 固定資産	755,103,024	1. 指定正味財産	0
(1) 基本財産	678,317,364	2. 一般正味財産	776,530,003
土地	361,224,400	負債及び正味財産合計	<b>790,241,869</b>
建物	237,838,986		
著作権	39,253,978		
定期預金	40,000,000		
(2) その他の固定資産	76,785,660		

### 正味財産増減計算書 2013年4月1日から2014年3月31日 (単位:円)

#### I 一般正味財産増減の部

##### ●経常収益

科 目	金 額
基本財産運用収入	<b>18,450,606</b>
基本財産利息収入	75,519
基本財産印税収入	17,937,167
基本財産配当収入	437,920
寄付金収入	<b>50,195,018</b>
一般寄付	15,209,808
3.11からの出発	5,460,210
助成金	29,525,000
賛助会費	<b>14,196,478</b>
事業収入	<b>53,433,822</b>
機関誌購読料	8,115,865
講習会・講演会・お話し	6,476,880
講師料	3,251,746
登録料	30,000
施設使用料	381,000
取材・資料協力費	272,562
出版物売上収入	34,905,769
雑収入	<b>430,136</b>
受取利息	3,209
雑収益	426,927
当期収入合計	<b>136,706,060</b>

##### ●経常費用

科 目	金 額
事業費	<b>108,005,702</b>
人件費	55,556,715
図書館費	708,085
機関誌発行費	4,379,311
講習会・講演会・お話し	2,140,528
調査研究費	550,914
人材育成費	2,912,575
催事費	74,281
広報活動費	3,179,411
在日ブラジル人・読書支援活動	1,008,621
会議費	26,000
3.11からの出発	7,185,612
出版費	16,150,861
一般諸費	6,321,310
減価償却費	5,274,178
租税公課	2,537,300
管理費	<b>9,565,457</b>
人件費	6,313,521
会議費	26,000
事務費	1,966,461
一般諸費	456,454
租税公課	24,200
減価償却費	778,821
経常費用計	<b>117,571,159</b>

#### II 期末正味財産の部

科 目	合 計
当期一般正味財産増減額	<b>19,134,901</b>
正味財産期首残高	<b>757,395,102</b>
正味財産期末残高	<b>776,530,003</b>